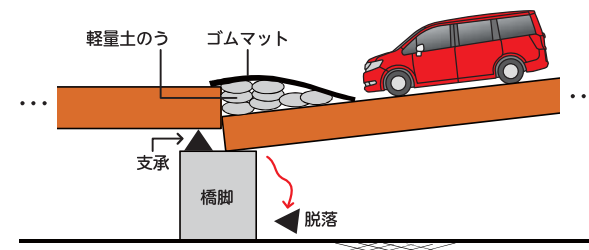


軽量段差修正材 ～軽量土のうとゴムマット～

地震により橋梁の繋ぎ目に段差が発生した場合、車両の通行ができなくなる可能性があります。滞留した車両の排除及び緊急通行車両の通行を可能とするため、早期の応急復旧が必要とされます。

従来は「土詰め土のう+敷鉄板」による路面段差修正が一般的でしたが、それらが非常に重く、特に敷鉄板においては、運搬・設置のための吊り上げ機材を搭載した車両が作業箇所へ接近できない、また、トラックに複数枚積載できないため複数箇所の連続作業ができないなどの課題がありました。

これらに対し、人力による運搬・設置が可能であり、大型車を含めた車両の通行にも耐えられる軽量段差修正材「軽量土のう+ゴムマット」の開発を行いました。



実際の橋梁における
段差修正イメージ

従来の段差修正材

土詰め土のう：約 25kg/袋 (15ℓ/袋)

敷鉄板：約 800kg/枚

軽量段差修正材

軽量土のう：約 5kg/袋 (15ℓ/袋)
(軽量発泡ガラス系材料、市販品)

ゴムマット：約 25kg/枚



・人力運搬や設置作業が困難



・人力運搬や設置作業の効率が向上
・複数箇所において同時設置可能



軽量段差修正材 ~EPSスロープ~

EPS：発泡ポリスチレン

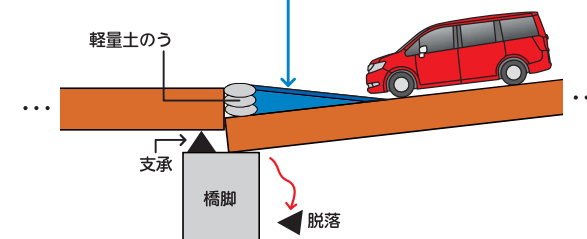
地震により橋梁の繋ぎ目に段差が発生した場合、車両の通行ができなくなる可能性があります。滞留した車両の排除及び緊急通行車両の通行を可能とするため、早期の応急復旧が必要とされます。

従来は「土詰め土のう+敷鉄板」による路面段差修正が一般的でしたが、それらが非常に重く、特に敷鉄板においては、運搬・設置のための吊り上げ機材を搭載した車両が作業箇所に接近できない、また、トラックに複数枚積載できないため複数箇所の連続作業ができないなどの課題がありました。

これらに対し、人力による運搬・設置の作業効率向上を図り、大型車を含めた車両の通行にも耐えられる軽量段差修正材「EPSスロープ」の開発を行いました。

- 軽量なEPS（発泡ポリスチレン）と表面保護材（FRP）を一体化
- 3つに分割して保管・運搬が可能（一部材の最大重量は30kg程度）
- 発生した段差が均等でない場合も、軽量土のう等を併用することで対処可能

EPSパネル材



実際の橋梁における
段差修正イメージ



人力により分割して運搬



軽量土のうとの併用例